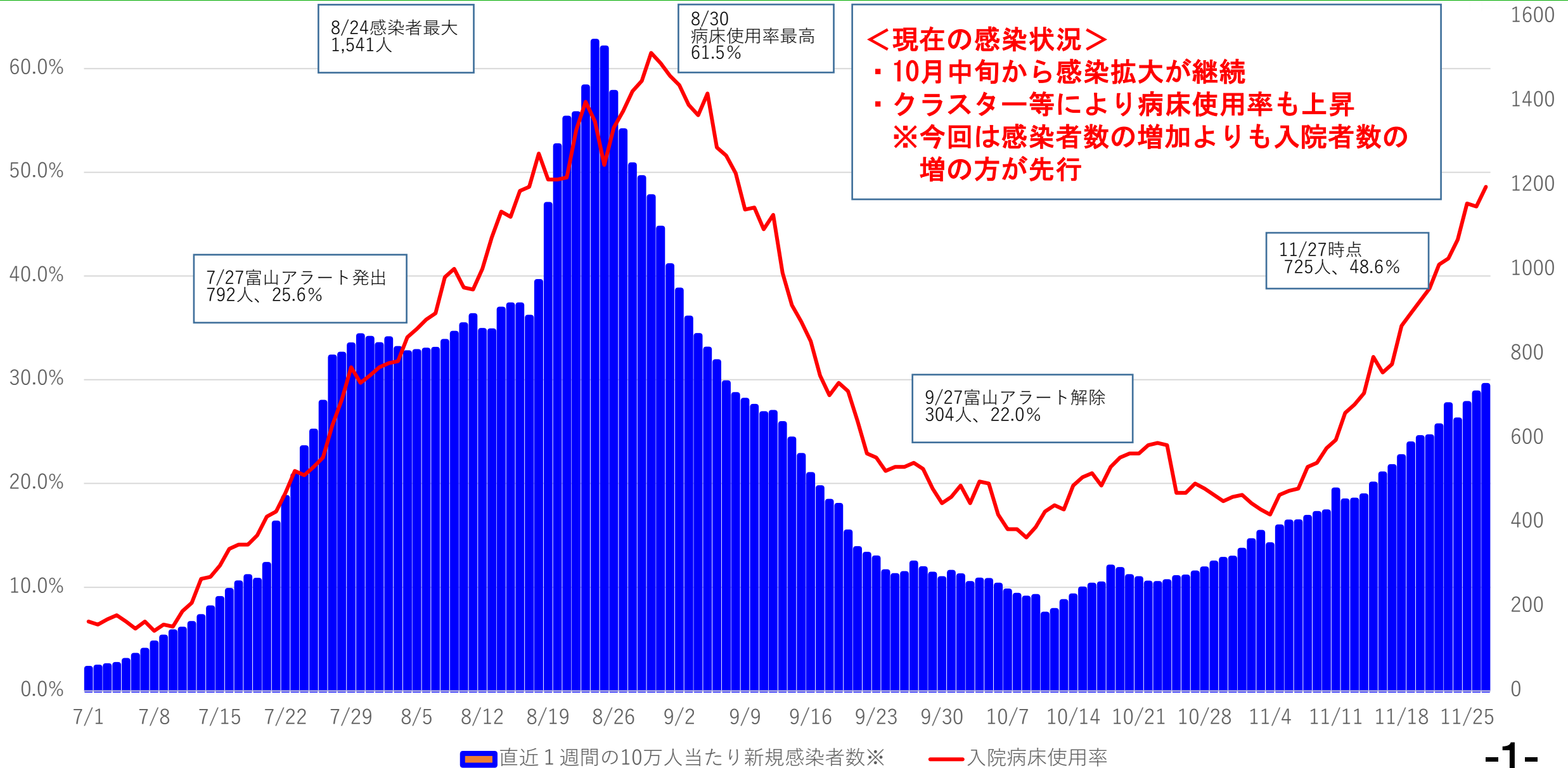
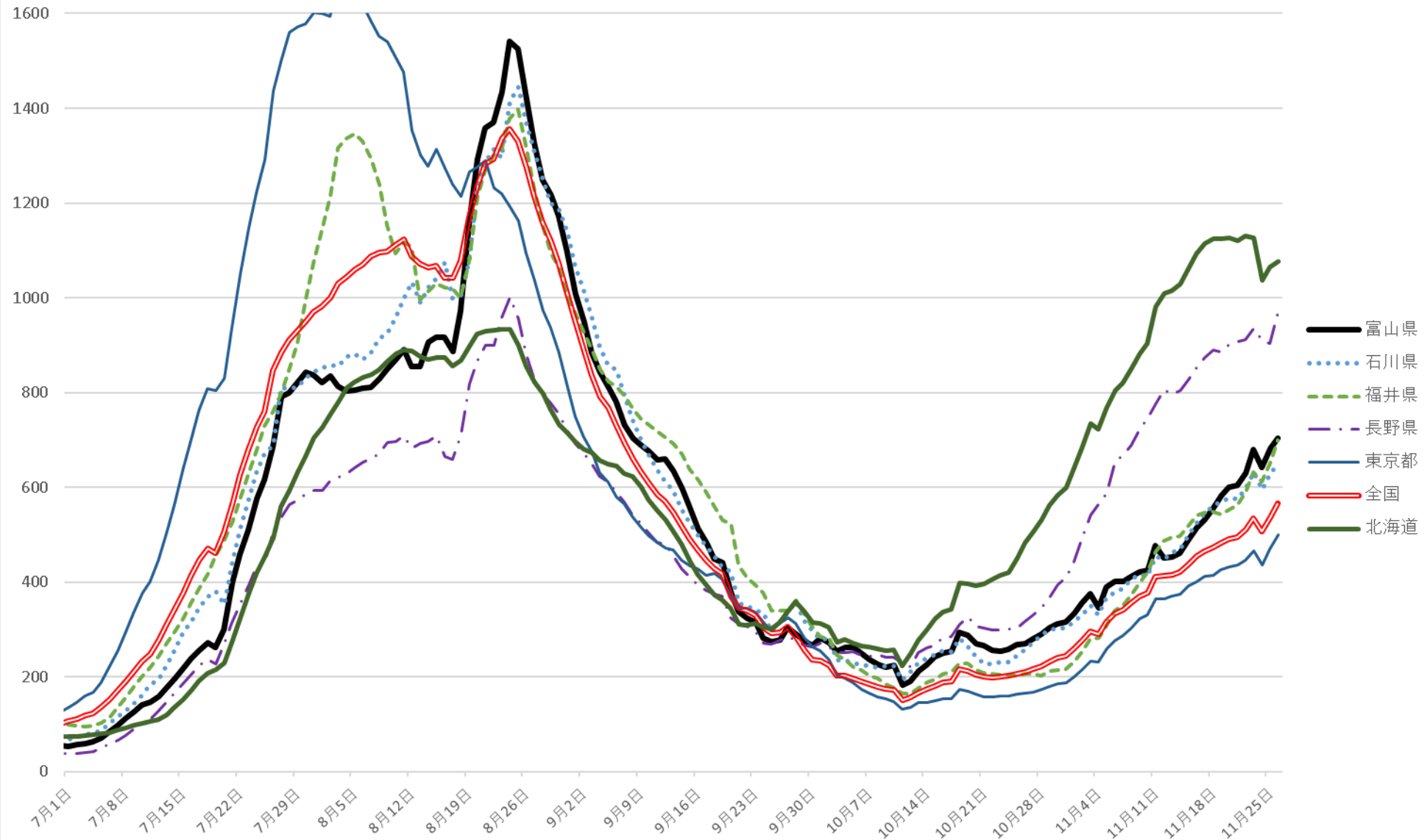


1 現在の感染状況



現在の感染状況

人口10万あたり1週間感染者数



感染対策のレベル（現行）

レベル分類	状態	注意報・警報	レベルの判断基準
レベル0	【感染者ゼロレベル】 ・新規陽性者0を維持	感染対策の継続	1 医療提供体制の指標 ①入院病床使用率 ②重症病床使用率 2 感染状況の指標 ①直近1週間10万人当たり感染者数（参考指標） ②上記①の対前週比 レベルごとの対策（行動制限も含む）は、そのときの流行株の特性に応じて実施
レベル1	【維持すべきレベル】 ・安定的に一般医療が確保 ・新型コロナに対し、医療が対応できている		
レベル2	【警戒を強化すべきレベル】 ・新規陽性者数が増加傾向 ・一般医療と新型コロナ対応医療に負荷が生じはじめている ・段階的な病床確保で対応可	感染注意報	<レベル1→レベル2の判断基準> ・入院病床使用率20%以上または重症病床使用率20%以上を目安とし、感染者数が増加傾向である場合に総合的に判断し、感染注意報を発出
		感染警報	・レベル2移行後も病床使用率や感染者数の増加傾向が続いた場合に感染警報を発出
レベル3	【対策を強化すべきレベル】 ・一般医療を相当制限しないと新型コロナ医療に対応不可 ・強い対策を講じる必要あり	まん延防止	<レベル2→レベル3の判断基準> ・入院病床使用率50%以上かつ重症病床使用率50%以上を目安とし、感染者数が増加傾向である場合に総合的に判断
レベル4	【避けたいレベル】 ・一般医療を制限しても新型コロナ医療に対応不可 ・確保病床を超えた入院が必要	緊急事態	<レベル3→レベル4の判断基準> ・確保病床を超えた入院が必要となる見込みとなった場合に総合的に判断

催物（イベント等）の開催は、原則、国の新型コロナ感染症対策の基本的対処方針の基準を適用

新型コロナ 感染対策のレベル（見直し後）

レベル分類	状況 (保健医療の負荷や社会経済活動の状況)	対策	レベルの判断基準 (保健医療の負荷や社会経済活動の状況等を踏まえ、総合的に判断)
レベル1	【感染小康期】 ・外来医療・入院医療ともに負荷が小さい	感染対策の継続	・病床使用率：概ね30%未満 ・感染者は低水準で推移または徐々に増加
レベル2	【感染拡大初期】 ・発熱外来の患者数が急増し、負荷が高まり始める ・救急外来の受診者数も増加 ・病床使用率、医療従事者の欠勤者数も上昇傾向 ・事業所では欠勤者が増加、業務継続に支障が生じるケースも出始める	感染注意報	・病床使用率が概ね30%以上 ・感染者が急速に増え始める
		感染警報	・感染注意報を出しても感染拡大が続き、病床使用率も上昇
レベル3	【医療負荷増大期】 ・発熱外来や救急外来に患者が殺到し、重症化リスクの高い方がすぐに受診できない事象が発生 ・救急搬送困難事例が急増 ・入院患者の増や医療従事者の多数の欠勤により入院医療の負荷が高まる ・事業継続が困難となる事業者も多数発生	医療ひっ迫防止対策強化宣言	・病床使用率が概ね50%以上かつ中等症以上の割合が増加 ・重症病床使用率が概ね50%以上 ・医療の負荷を増大させるような数の感染者が発生
		医療非常事態宣言	・対策強化宣言に基づく対策を行っても感染拡大が続く場合
レベル4 避けたいレベル	【医療機能不全期】 ・通常医療も含めた外来医療全体が機能不全 ・入院できず自宅や施設内療養中の死亡例が多数発生 ・通常医療を大きく制限せざるを得ない状態 ・膨大な欠勤者により社会インフラの維持に支障	緊急事態	・病床使用率が概ね80%以上かつ中等症以上の割合が増加 ・重症病床使用率が概ね80%以上 ・想定を超える膨大な数の感染者が発生

1 医療提供体制の指標

①入院病床使用率 ②重症病床使用率

2 感染状況の指標(参考指標)

①直近1週間10万人当たり感染者数 ②①の対前週比

レベルごとの対策（行動制限も含む）は、そのときの流行株の特性に応じて実施

<催物（イベント等）の開催>原則、国の新型コロナ感染症対策の基本的対処方針の基準を適用

新型コロナとインフルエンザの同時流行を見据えた対応

同時流行した場合の最大想定患者数 約5,600人/日
(新型コロナ3,600人、インフルエンザ2,000人)



	平日	土曜日	日曜・祝日
診療体制 + 陽性者登録	約5,600人	約3,200人	約1,000人
うち 診療体制	約5,200人	約2,800人	約600人
うち 陽性者登録	400人	400人	400人

【本県の課題】

診療体制と陽性者登録センター利用分を合算すると平日の総量では概ね診療体制が確保されているが、土・日・祝日や平日でも地域によっては発熱外来がひっ迫するおそれがある



感染予防・重症化予防対策	医療提供体制の確保	その他の対策
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナとインフルエンザのワクチン早期接種（未就学児のインフルワクチン接種助成や市町村の対策を支援） 基本的な感染対策の徹底（特に換気、体調不良時の外出自粛、会食時） 高齢者施設等での集中的検査の実施 その他、医療ひっ迫の状況に応じた対策実施 	<ul style="list-style-type: none"> 診療・検査医療機関の拡充（約60の医療機関で診療時間を拡充、今後も新たな指定への協力などをよびかけ） 確保病床の拡充 481床→492床 年末年始や休日等の初期救急等の体制拡充を依頼 	<ul style="list-style-type: none"> 受診相談センターや健康フォローアップセンターの相談体制拡充 陽性者登録センターの対象年齢を拡充（18歳から64歳⇒中学生から64歳） <small>ただし中学生は症状に不安がある場合は受診を推奨</small> 新型コロナ検査キットや解熱鎮痛薬などの事前準備を周知

県民の皆様へのお願い

同時流行が見られない状態	同時流行により医療提供体制に負荷がかかっている状態
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの早期接種（人流が活発となり、かつ、医療機関が休診する年末年始前までに） 基本的な感染対策の継続 新型コロナ検査キットや市販の解熱鎮痛薬、5～7日分の日持ちのする食糧、日用品の準備 発熱時の受診先や相談先、自宅療養時の留意事項の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 軽症かつ重症化リスクの低い方 自己検査で陽性判定の場合、可能であれば医療機関を受診せずに陽性者登録センターへ登録し、市販薬なども活用しての自宅療養をお願い 65歳以上の高齢者、小学生、妊娠中の方、基礎疾患をお持ちの方 症状がある場合は、医療機関を受診 かぜ症状のみの場合などは平日昼間に受診

感染対策のレベル分類

レベル2感染警報への引上げ

○病床使用率が50%前後まで上昇

○感染者数の増加傾向が継続

※休日や平日でも地域によって発熱外来がひっ迫

要介護の入院者やスタッフの感染等により病床の負荷も増大



レベル2 感染注意報



レベル2 感染警報

県民の皆様へのお願い

○ご自身や大切な方を守るため、また、医療提供体制のひっ迫を防ぐためにも**新型コロナワクチンの
早めの接種**をお願いします（お子様や若い世代の方も重症化防止のためにもご検討ください）

○今一度、基本的な感染対策の徹底をお願いします

特に「**こまめな換気**」「**体調不良時には外出を控えること**」「**会食時の感染対策**」に注意

県接種会場の予約枠を拡充して対応

飲食店の皆様には、常時換気にご協力をお願いします

○症状の重い方や重症化リスクの高い方が、速やかに外来を受診できるようにするため、

・**軽症で重症化リスクの低い方は、自己検査を行い、陽性判定が出た場合は、医療機関を受診せずに市販の解熱鎮痛薬も活用して自宅療養**することもご検討ください（県の陽性者登録センターへ登録）

⇒ 自宅療養中に症状や健康に不安があれば健康フォローアップセンターに相談

・**かぜ症状のみの方は、平日昼間の受診**をお願いします

対象:18歳以上から中学生以上へ拡大

○新型コロナの入院治療が必要な方のために、

・**新型コロナの治療が終わった方の早期退院**について、ご家族も含めご理解をお願いします

・**高齢者施設に入所中や新型コロナ病床以外に入院中の方**で、新型コロナの症状が重くない場合は、生活の質の維持のためにも引き続き**現在の場所での療養**にご家族も含め、ご理解をお願いします

医療機関の負担となるため、職場等へ復帰時の陰性証明や、保険請求目的の療養証明を求めることはお控えください

オミクロン株対応ワクチン接種 県特設会場の予約枠の拡充

➤ 12月の接種日程を追加

会場	当初日程（予約受付中）	追加日程
東部会場 (富山空港ターミナルビル)	12/3（土）、12/10（土）、12/17（土）、12/24（土）	<u>12/29（木）</u>
西部会場 (ホテルニューオータニ高岡 または高岡テクノドーム)	12/11（日）、12/17（土）、12/24（土）	<u>12/29（木）</u>

- 予約受付中の日程についても、接種枠を拡充して対応
- 12/29(木)の予約受付は、11/28(月)午前10時～

ぜひ、早めのご予約、年内の接種をお願いします！

ひとりひとりの感染予防行動の継続で、 高齢者等重症化リスクの高い方を守り、医療提供体制の確保を

ご相談窓口等

全般的なご相談

富山県新型コロナ
相談窓口

076-
444-2176

毎日9:00~17:00

発熱等の症状がある場合

受診・相談センター

076-
444-4691

24時間

受診（陽性）後の体調不安

健康フォローアップ
センター

0120-
934-952

24時間

- ・回線数を複数確保していますが、感染者が増えると、朝方や夕方などつながりにくい時間帯があります。
- ・受診先などをお探しの際は、県のHPで診療・検査医療機関一覧を公表しています

富山県陽性者登録センター（Web登録）

- ・症状が軽い方で重症化リスクが低い方、
- ・中学生以上で64歳以下の方、
- ・医療機関を受診せずに自宅療養が可能な方

※医療機関を受診された方の登録は不要 -8-